

RYOBI®

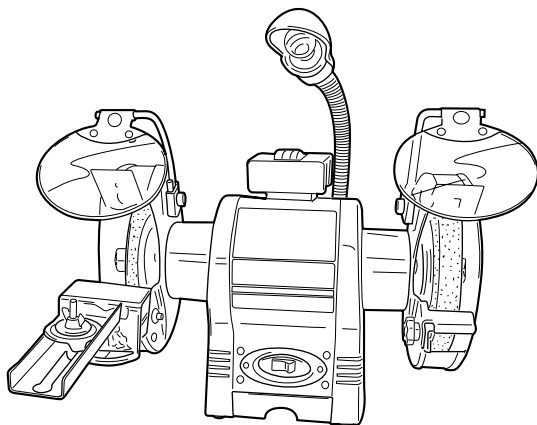
両頭グラインダ

TG-151

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

・安全上のご注意	1 ~ 4
・梱包内容の確認	5
・各部の名称・仕様・付属品	6
・用途・別販売品	6
・組立方法	7 ~ 8
・ご使用前に	9
・操作方法	10 ~ 12
・作業方法	13 ~ 14
・別販売品について	15
・保守と点検	16

このたびは、リョービ両頭グラインダをお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「⚠ 警告」、「⚠ 注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「⚠ 警告」、「⚠ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

安全上のご注意

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

6. 無理に使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
11. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
12. 加工する物をしっかりと固定してください。
 - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
13. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
14. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。
15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
16. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。

⚠ 警告

17. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
19. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
20. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行ってください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行ってください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
21. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
22. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

両頭グライндаご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、両頭グライндаをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

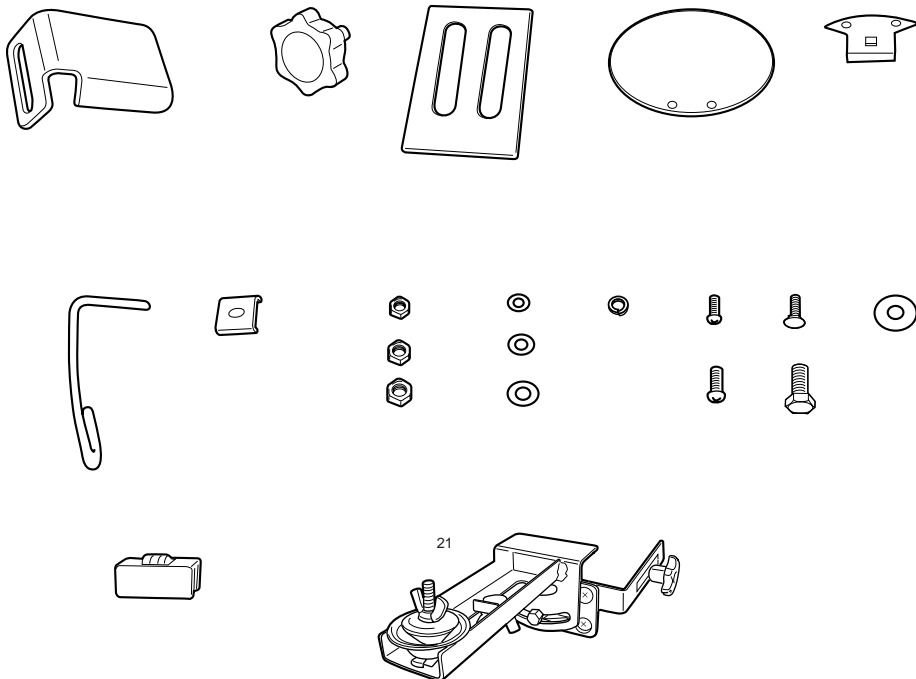
警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・表示を超える電圧で使用すると、過負荷による発熱、火災の原因になります。
2. 砥石、砥石カバー、アイシールド、ワークレストなどは、取扱説明書の指示に従い正しく取付けて使用してください。
・取付けが不確定な状態で使用しますと、けがの原因になります。
3. 使用中は、砥石や回転部に手や顔を近づけないでください。
・けがの原因になります。
4. 砥石に表示されている最高使用周速度33m/s以上の正規の砥石を取付け、正しい使用面で研削してください。側面での研削はしないでください。
・正規以外の砥石を使用したり、また側面で研削すると、砥石が破壊し、けがの原因になります。
5. しっかりした台に固定して使用してください。
・機体をボルトナットなどで作業台にしっかり固定してください。機体が不安定ですと、けがの原因になります。
6. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
・そのまま使用していると、けがの原因になります。
7. 事業者の方へ
砥石の取替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。
関連法令 労働安全衛生規則 第36条
労働安全特別教育規程 第1条、第2条
8. 延長コードを使用するときは、アース線を備えたキャブタイヤコードを使用してください。

注 意

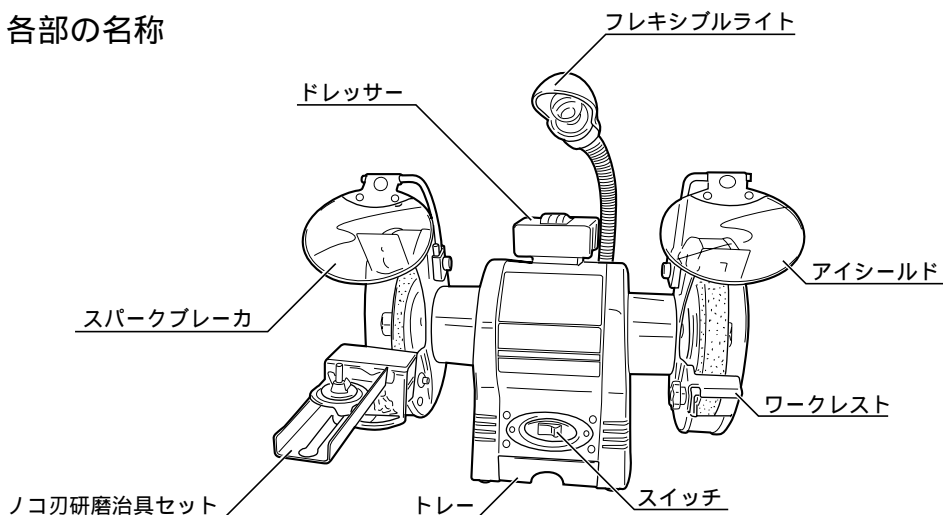
1. 砥石をご使用の場合で、新しい砥石を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください。
・砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
2. 試運転を励行してください。
試運転時間は、砥石交換のとき…………… 3分間以上
その日の作業始めのとき…………… 1分間以上 です。
・試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。

梱包内容の確認



No	部品名	数量	No	部品名	数量
1	ワークレスト(右)	1	2	ノブネジ	1
3	スパークブレーカ	2	4	アイシールド板	2
5	フレーム	2	6	アーム(右左)	各1
7	ブラケット	2	8	ナット M4	4
9	ナット M5	2	10	ナット M6	2
11	平ワッシャ M4	4	12	平ワッシャ M5	2
13	平ワッシャ M6	2	14	バネ座金 M5	2
15	ナベ小ネジ M4	4	16	ナベ小ネジ M5	2
17	ネジ	2	18	六角ボルト	2
19	ワッシャ	2	20	ドレッサー	1
21	ノコ刃研磨治具セット	1	—	本体(砥石付)	1
—	取扱説明書	1			

各部の名称



仕様

- ・電源 …………… 単相・交流 100 V 50/60 Hz
- ・電流 …………… 4.2 A
- ・消費電力 …………… 300 W
- ・無負荷回転数 50Hz …………… (no)3,000min.⁻¹ (3,000 回 / 分)
- 60Hz …………… (no)3,600min.⁻¹ (3,600 回 / 分)
- ・砥石寸法 (外径×内径) …………… 150 × 12.7 mm
- ・コード …………… 2 m
- ・定格時間 …………… 30 分
- ・機体寸法 (幅) …………… 350 mm
- ・質量 (砥石含まず) …………… 9.2 kg

付属品

- ・平砥石 A60 PVP (本体取付) …………… 1
(外径)150mm × (内径)12.7mm × (厚み)19mm
- ・目立砥石 A/WA60NB (本体取付) …………… 1
(外径)150mm × (内径)12.7mm × (厚み)6.4mm
- ・アイシールド …………… 2
- ・スパークブレーカ …………… 2
- ・ワークレスト (右) …………… 1
- ・ドレッサー …………… 1
- ・ノコ刃研磨治具セット …………… 1

別販売品

- ・ワークレスト (左)
- ・平砥石 # 36

用途

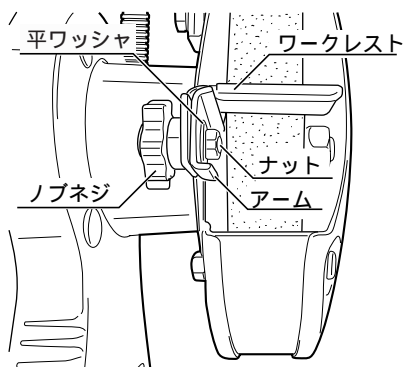
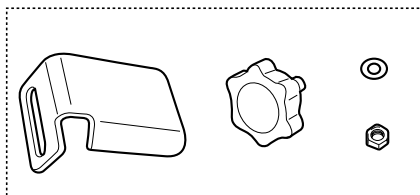
- ・工場におけるバイト、ドリルなどの研削、バリ取り作業
- ・包丁、鎌、農機具の刃物の研削、刈払機の刃および丸ノコの目立て (刈払機の刃および丸ノコの研削は、ノコ刃研磨治具セットをご使用ください。)

組立方法

ワークレストの取付け

- ・ワークレストを右の固定側砥石カバーのアームに取付けてください。
- ・取付けは、固定側砥石カバーのアームにワークレスト を取付け、ノブネジ、平ワッシャM5、ナットM5 で取付けます。
- ・ワークレストは加工物をしっかりと保持するために、出来るだけ砥石に近づくように調整してください。ワークレストと砥石の間隙は、2～3mmに調整してください。

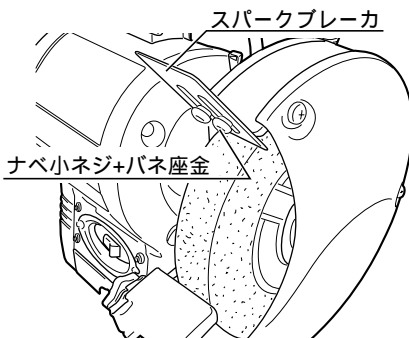
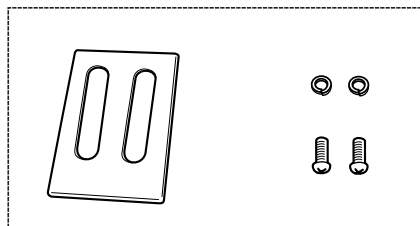
(注)砥石が摩耗するにしたがって、ノブネジをゆるめて調整を行なってください。



スパークブレーカの取付け

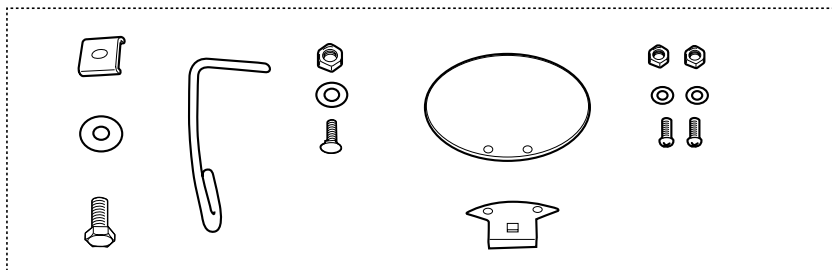
- ・スパークブレーカ を左右の固定側砥石カバーの上側にナベ小ネジM5 とパネ座金M5 で取付けます。
- ・スパークブレーカは、作業者に火花が当たるのを防止するための物で出来るだけ砥石に近づくようにしてください。スパークブレーカと砥石の間隙は、3～10mmに調整してください。

(注)砥石が摩耗するにしたがって、ナベ小ネジをゆるめて調整を行なってください。

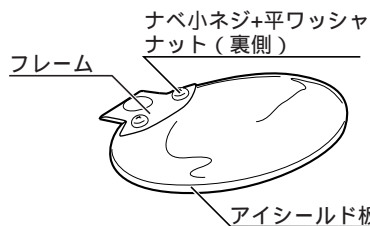


アイシールドの取付け

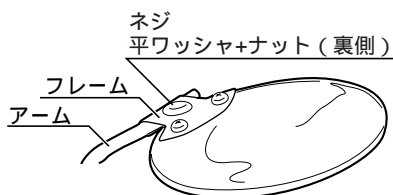
- ・ 作業者を保護するためにアイシールドを取付けてください。



1. アイシールド板 をフレーム の裏側に置き、アイシールド板 とフレーム の2つの穴を合わせて、2本のナベ小ネジ M4 、平ワッシャ M4 、ナット M4 で固定します。

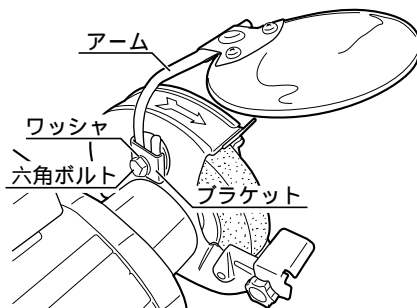


2. アーム にフレーム をさし込んで、ネジ 、平ワッシャ M6 、ナット M6 でフレームを固定します。



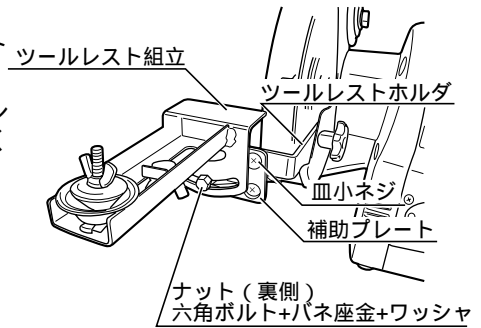
3. アームを固定側砥石カバーの内側にブラケット、ワッシャ、六角ボルトで取付けます。

- ・ アイシールドの位置調整はアイシールド板 を動かすか、六角ボルト をゆるめて、アームを動かすことで調整が出来ます。



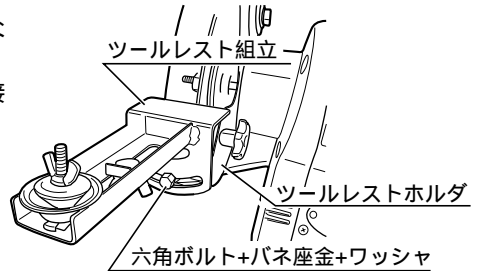
ノコ刃研磨治具セットの取付け

- ・ ツールレストホルダに皿小ネジで補助プレートを取付けます。
- ・ 補助プレートにツールレスト組立を六角ボルト、バネ座金、ワッシャ、ナットで取付けてください。



（補助プレート不要の場合）

- ・ ノコ刃の刃形状により、補助プレートが不要な場合には取外してご使用ください。
- ・ ツールレスト組立をツールレストホルダに直接六角ボルト、バネ座金、ワッシャで取付けてください。



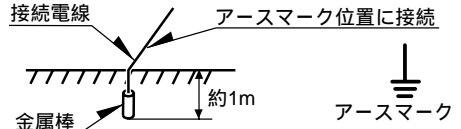
ご使用前に

漏電しゃ断器について

- ご使用前に、本機が接続される電源に感電防止用漏電しゃ断装置(漏電しゃ断器)が設置されていることを確認してください。定格感度電流 15mA 以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の市販品の漏電しゃ断器をご使用ください。
(労働安全衛生規則第 333 条、第 334 条・電気設備の技術基準第 18 条、第 28 条、第 41 条)

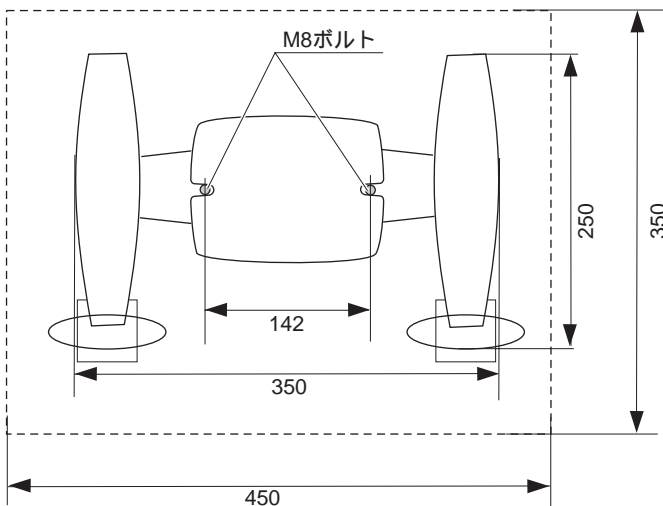
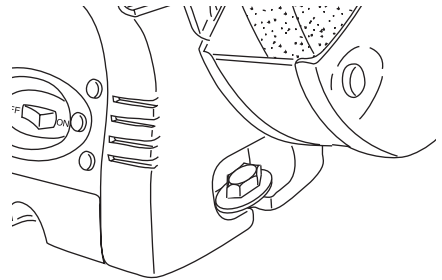
アースについて

- 感電事故を防止するため、本体後部に付いているアースネジよりアースを必ず取って安全な作業をしてください。
- 金属棒を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご相談ください。



作業台などへの取付け

- 機体は運転中、置かれた作業台などが多少でも傾斜があれば振動で動きます。安全に作業するためにベースの 2 箇所を穴を利用して、M 8 のボルトなどで作業台に固定してください。
- 取付位置、作業スペースは下図を参考にしてください。



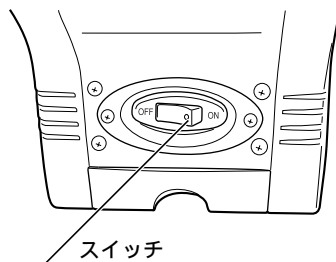
操作方法

スイッチの扱い方

⚠ 警告

- ・使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用すると、過負荷による発熱、火災の原因になります。

- ・スイッチ操作は、ON(右側)を押すとスイッチが入り、OFF(左側)を押すと切れます。スイッチ操作で、砥石の運転とライトの点灯が同時に行なわれます。



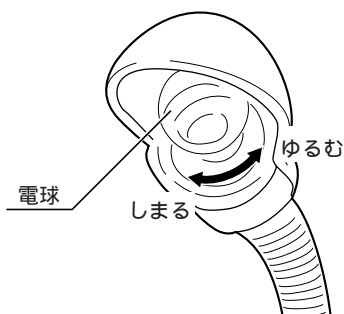
電球の交換

⚠ 警告

- ・点灯中または作業直後の電球は、大変熱くなっていますので触れないでください。やけどの原因になります。
- ・電球を交換するときは、必ず本機のスイッチを切った後に、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因になります。

- ・スイッチを入れてもライトが点灯しないときは、電球が切れています。新しい電球と交換してください。電球は市販の「自動車用電球 12V 21W」をお買い求めください。

- ・電球の取外しは、電球を押して、左側に回して外してください。

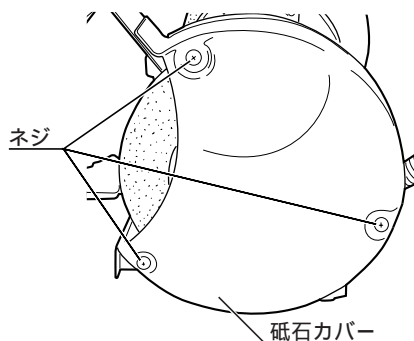


砥石の交換

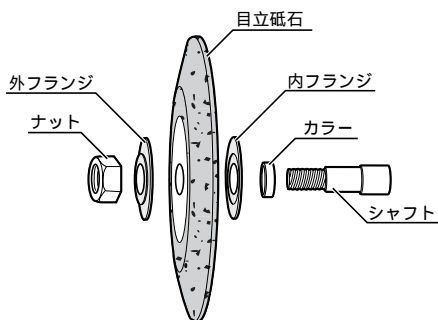
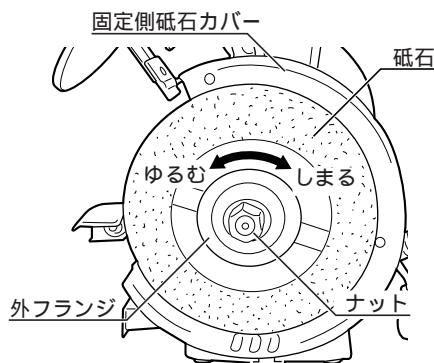
⚠ 警告

- ・ 砥石に触れるときや砥石を交換するときは、必ず本機のスイッチを切った後に、電源プラグをコンセントから抜いてください。不意な始動によりけがの原因になります。
- ・ 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。

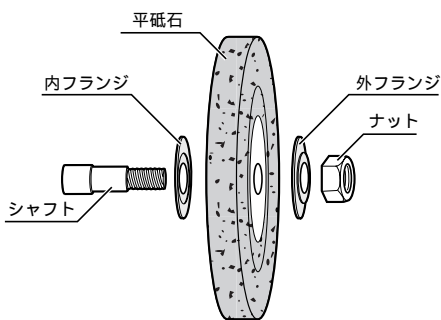
- ・ 砥石の交換は、砥石カバーを取付けている3本のネジをお手持ちの⊕ドライバで取外してください。この際、反対側のワッシャ、六角ナットを落とさないように注意してください。



- ・ 右側の砥石と固定側砥石カバーの間のシャフトの面取り部を固定し、ナットをゆるめます。(お手持ちのスパナ13mm、19mmを使用してください。) ナットは砥石の回転方向に回すとゆるみます。
- ・ ナット、外フランジ、砥石を外します。
- ・ 内フランジの切欠部がシャフトの回止ピンにセットされていることを確認します。
- ・ 新しい砥石、外フランジをシャフトに入れ、ナットで締付けます。
- ・ 砥石カバーを取付けます。
- ・ ワークレスト、スパークブレーカを前記の要領で調整してください。



目立砥石



平砥石

作業方法

⚠ 警告

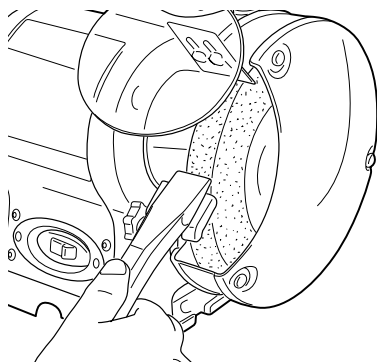
- ・スイッチを入れる前に、砥石の取付けにゆるみやガタがないことを確認してください。
- ・スイッチが切れていることを確認してから電源コンセントに接続してください。引火しやすいものの近くでは使用しないでください。また、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。
- ・ノコ刃の研磨をする前に、ノコ刃押工金具がしっかりと締まっていることを確認してください。けがの原因になります。
- ・研磨中は、保護めがねを着用してください。切粉が目などに入り、けがの原因になります。

⚠ 注意

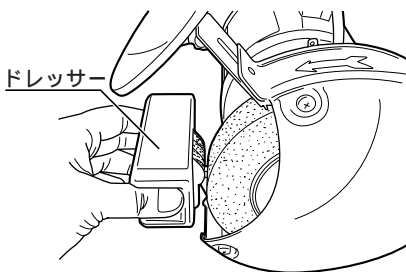
- ・研削中は、砥石カバーの前方に、熱くなった研削粉じん（火の粉）が勢いよく飛び出てきますので、十分注意をしてください。
- ・研削作業は加工物をワークレストにのせ、加工物をしっかり保持し正しい作業姿勢で行なってください。
- ・研削砥石の決められた使用面以外での使用はしないでください。特に平形の研削砥石は横からの力に弱いので、砥石の側面を使用しないでください。

研削方法

- ・研削は、加工物をワークレストの上へのせ、しっかり保持して、行なってください。



- ・研削砥石は時々ドレッシングをしてください。目つぶれ、目づまりの砥石をご使用になりますと加工面が悪くなったり、作業能率が低下します。時々付属品のドレッサーでドレッシングをし、外周を正しい形状にして研削作業を行なってください。
- ・ドレッシングは、ワークレストの上にドレッサーを図の様にのせ、しっかり保持して砥石の研削面に軽く押し当てて行ないます。

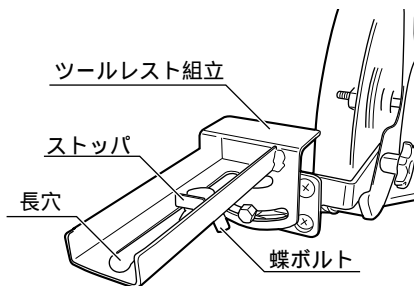
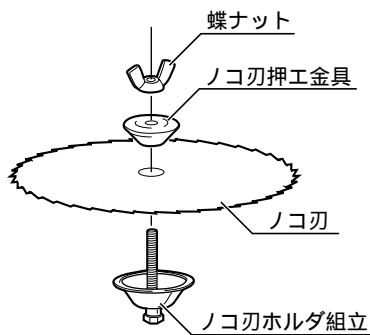


ノコ刃の研磨方法

(ノコ刃の取付け)

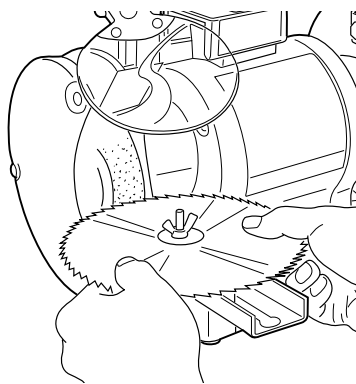
- ・ノコ刃をノコ刃ホルダ組立とノコ刃押工金具ではさみ、蝶ナットで締付け固定した後、ツールレスト組立の長穴にセットします。
- ・ツールレスト組立の位置を目立砥石とノコ刃の刃先が一致するように調整してください。ストップは目立て深さを一定にするためのものです。目立て深さを決めた後、蝶ナットで締付けて固定します。

(注)刃寸法の大きいもの、特殊な刃形状のノコ刃には使用できません。



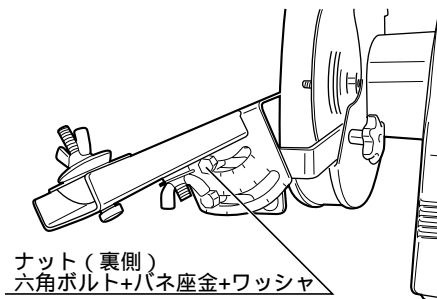
(目立ての方法)

- ・ノコ刃の目立ては、両手でノコ刃をしっかり押さえ、ツールレストの長穴に沿って前後に摺動させながら1目づつ目立てをしてください。



(ツールレストの角度調整)

- ・ツールレスト組立は左右30°までの角度調整ができます。六角ボルトをゆるめて、刃の角度に合わせます。調整後は、六角ボルトを締付けて目立研磨を行なってください。

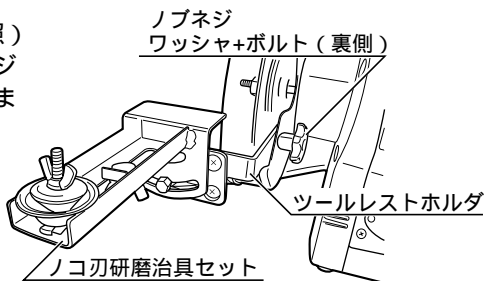


別販売品について

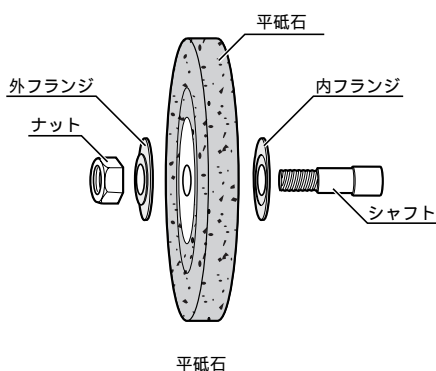
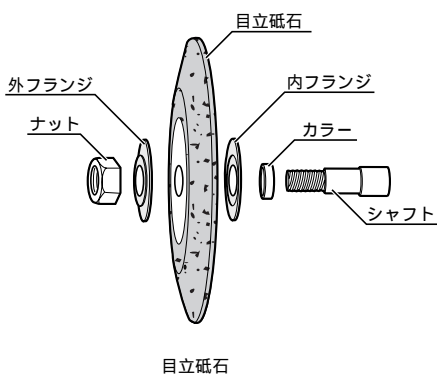
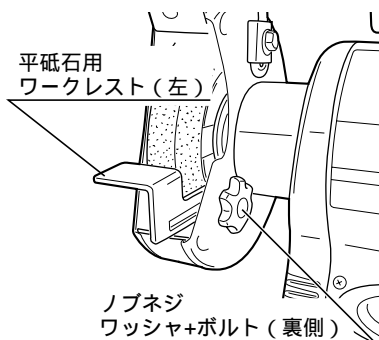
- ・目立砥石を平砥石に交換して使用することができます。平砥石を使用する場合は、別販売品の平砥石用ワークレスト(左)が必要です。

(交換手順)

1. 目立砥石を外します。(P12砥石の交換参照)
2. ツールレストホルダを取付けているノブネジをゆるめ、ノコ刃研磨治具セットを取外します。



3. 平砥石用ワークレスト(左)をノコ刃研磨治具セットのノブネジ、ワッシャ、ボルトで取付けます。
4. カラーを取外し、内フランジ、平砥石、外フランジの順に取付け、ナットで締付けます。
5. 砥石カバーを取付けます。
6. ワークレスト、スパークブレーカを調整してください。



警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前にスイッチを切り、プラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

使用後の手入れ

- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

NOTE

NOTE

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせ
ください。

改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141